

地域が育む「かごしまの教育」県民週間



11月4日（火）～7日（金）は、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」を実施しました。期間中は、多くの保護者や地域の皆さんが来校されました。

5日（水）には、「土っ子秋祭り」を開催しました。今年も「昔の遊び」で、子どもたちと高齢者の皆さん、保護者の方々とふれあい活動を行いました。また、1・2年生は生活科の展示、幼稚園はゲームのコーナーを設けて、皆さんに楽しんでもらいました。さらに、市音楽発表会に出場する子どもたち（1～4年生）の合唱も披露しました。最後に、子どもたちが育て、収穫したいもを試食する時間を設け、皆さんに召し上がっていただきました。

以下は参加された方の感想の一部ですが、今回の「土っ子秋祭り」について、「昔遊びが楽しかった。」「いもをおいしくいただいた。」等の感想をたくさんいただきました。

子どもたちのために参加してくださった各地区の高齢者の皆さん、ふかしいも作りのお手伝いをしてくださった保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【参加者の感想】

「今日は、とても楽しい一日でした。子どもたちも、ずいぶんと成長し、頼もしく思いました。これからもよろしくお祈りします。」

「久しぶりに土橋小に来ました。校庭のいちょうの木も立派な大木になって子どもの成長を見守っているようです。1年、2年の子どもたちもよくおぼえて、大きくなっていました。」

「どの学年も一生懸命やっている姿がとてもよかったです。音楽もきれいにそろっていて、とても気持ちよく聞けて楽しいでした。」

「今日は、自分の子ども時代を思い出して、楽しく遊ぶことができました。ありがとうございました。」

「昔を思い出して楽しかったです。」

【学校参観に来られた方の感想】

「子どもたちと先生方がいっしょけんめい元気に授業をされていて、元気をもらいました。」

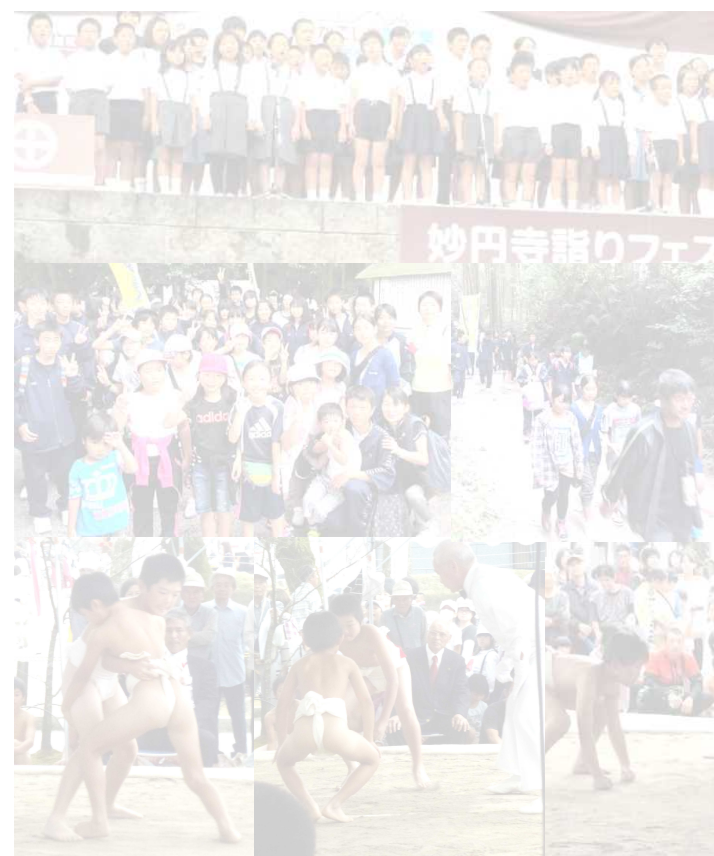
「おひさま運動」が自校化（ポスター等）されていて、とても新鮮でした。設営の一つ一つに様々な工夫や意図が感じられ、学校としての勢いを感じました。」

市音楽発表会

11月12日（水）、伊集院文化会館で、市音楽発表会が行われ、今年も1年生から4年生が学校代表として出場しました。今回は「友だちになるために」という曲目を、歌詞に合わせた手話を交えて合唱しました。子どもたちは覚えたての手話を体いっぱい使って表現し、大きな歌声で発表しました。終了後、会場から大きな拍手をもらいました。



第64回妙円寺詣り行事大会



10月26日（日）に行われた第64回「妙円寺詣り行事大会」に、土橋小・中学校の児童・生徒・保護者約80名の皆さんが参加し、徳重神社まで約8kmの道のりを全員が歩き通しました。

相撲競技には今年も4～6年の男子25名全員が出場しました。はじめはやや緊張気味でしたが、取組が始まると、皆、闘志満々にがんばりました。結果は残念ながら入賞できませんでしたが、持てる力を精一杯発揮して堂々と戦いました。

また、前日の「妙円寺詣りの歌暗唱発表」にも5・6年生8名が参加し、歌詞を22番まで元気よく完唱することができました。